

大会名：県南キッズサッカーフェスティバル U-7

日程：平成27年5月23日（土）

会場：西部第二体育館

参加：J1クラス 5名

帯同：渡邊コーチ

対戦相手：

VS ビアンコーネ福島 1：1 △

VS F C グラート 0：1 ●

VS ビアンコーネ福島 4：3 ○

VS F C グラート 2：0 ○

結果： フェスティバルのため順位なし

県南キッズサッカーフェスティバルにJ1クラスの5名が参加しましたので、報告します。

今回のフェスティバルのレギュレーションは、フットサル形式で、5人制のキックイン、ゴールキックなし、15分（ハーフタイム無し）です。学校によっては、運動会と重なったこともあり、参加人数はピッタリ5人。交代選手はいません。選手の体力は15分持つのか。そんな不安を抱きながら、お馴染みの作戦ボード用選手名マグネットを丹精を込めて作り上げ、この日を迎えました。

試合前に選手たちに問いかけたこと「どうしたら点を取れるのか」。頭の柔らかい子供達ですから、“ドリブルで抜かしてシュート”や“ゴールが見えたらシュート”と言った内容や“パス、パス、パス いや違う パス パス シュート”とお呪いのように単語を連発、“くるっと回る？いや違うジャンプ？”と言ったファンタジーなアイデアなど次から次へと自由な発想が出ていました。選手達とみんなの意見を1個ずつ話し合い、どうしたら点を取ることが出来るのかを整理し試合に臨みました。

攻撃面は、全員が、どうしたら点を取れるのか。点を取るにはどうしなければいけないのかを最後まで考えてプレーしていました。この最後までやりきること自体素晴らしいことです。4試合全て言えることですが、セカンドボールをことごとく拾っていたこと、仲間との距離を考えて、近づいたり、離れたりにしてパスをもらっていたので、相手のプレッシャーをうまく交していました。パスを繋いでの攻めは高学年顔負けのプレーでした。攻撃の改善点は、トラップとキックです。うまくボールを止めることができなくてラインを割ってしまったり、狙ったところに蹴れなくて、相手ボールになってしまったりと、圧倒的に攻めているのに、ゴールが少なかったのは今後の反省点です。

続いて守備面です。ボールに近い選手が積極的にボールを奪いに行き、他選手がカバーし強度の高い守備をしていました。相手がどこにパスをして来るのか、どこにパスされたらピンチになるかを自分達で考え相手よりも先に動き、走ってプレーしていたのは

良かったです。守備の改善点は、失点の場面は全て、全員が攻め上がっていて、長いボールを入れられてという形でした。みんなで話し合った結果、一人は必ずセンターサークル付近に残ると決めていましたが、我慢できずにと言った感じでした。

当初の私が心配した15分プレーし続けることが出来るのかといった不安は、必要なかったです。普段は甘えん坊なJ1クラスの5人ですが、この日は、5人とも一生懸命走り続け、共に喜び、悔しがり、時に厳しく、声を掛け合いプレーしている姿は頼もしくもあり、カッコよかったです。サッカーは子供を大人にするそんな言葉ぴったりの時間でした。それにしても、自分たちで考えた攻め方、すごいアイデアだったね。他チームにバレてしまうので、ここでは発表出来ないのが残念です。今回の経験を活かして、もっと上手になるためにいっぱい練習しましょう！

最後に、大会関係者の皆様、フェスティバルに参加させていただきありがとうございました。また、J1クラスご父兄の皆様、応援ありがとうございました。引き続き応援よろしくをお願いします。

～目で見、肌で感じて、出した答えは

“くるっと回る” 意味分からんから説明してよお～

コーチ：渡邊







